

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーモニークロック		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		～ R6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	R6年11月1日		～ R6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法を中心とした各種の療育	お子様一人ひとりの特性やニーズを理解し、それに合わせた音楽療法のプログラムを組んでいます。コミュニケーション能力や感情表現能力の向上を図っています。	音楽療法の技術を向上させるために、お子様の反応や進捗状況を観察しながらプログラムの質を向上させ、さらなる充実を図りたいと考えています。
2	お子様が楽しく療育に参加している。	小さな成功体験を積み重ねられるよう、簡単な楽曲から挑戦できるようなプログラムを設定しています。これにより、自信を持って取り組むことができ、楽しさを感じられます。	定期的に音楽イベントや発表会を開催し、自分の成果を発表できる機会ができればと考えています。楽しみながら成長を実感できる環境を、引き続き提供していきたいと考えています。
3	クラシックやジャズなど正しい音楽の知識を取り入れている。	様々な音楽ジャンルのリスニングセッションをおこなうことで、お子様が自分の好きな音楽を見つけられるようにしています。音楽の選び方や楽しみ方を学ぶことで、より深い音楽体験をねらっています。	お子様の表情や反応を観察する中で、常に新鮮で魅力的な音楽療法を提供し、満足度を高めることを目指していきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校や園との連携(情報共有)が少ない。	各機関の役割や責任が明確でないと感じています。そのため、連携の必要性が認識されにくくなっていると考えます。	定期的な情報交換会などの開催と役割の明確化、さらに共同プログラムの開発など、子どもたちにとって有益な取り組みを今後も引き続き考えていきたい。
2	慢性的な人出不足。	福祉職は業務負担の割に給与が低く定着率が低いと考えます。	地域の大学や専門学校の連携し、インターンシップや実習の機会を提供することで将来の人材を確保するなどの取り組みが必要と考えます。
3			